

第9章 SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) との上手なつきあい方 —トラブル・事件を避けるために—

Twitter (ツイッター)、Facebook (フェイスブック)、LINE (ライン)、mixi (ミクシイ) ……、これらのSNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) の名前を聞かない日は、今やほぼなくなりました。皆さんの中にも、これらのSNSを利用している人が多いかと思いますが。友人との会話や、いま何しているかのつぶやき、その日あったことの日記など、かつての電話や、直接会っての会話が、今やSNSに取って代わられて来つつあります。

SNSはとても便利なコミュニティ・ツールであり、時間や場所を選ばずに他人とやり取りが可能です。ですが、その便利さ・手軽さゆえ、従来は考えられなかったトラブルが次々に発生しているのもまた事実です。例えば、最近起きたSNS関連の事件を、いくつか挙げてみましょう。

- アルバイト先の飲食店キッチン内で、食材の上に寝転んだり、食器洗浄機の中に入り込んだりする悪ふざけの写真をTwitterで投稿して、その店の営業が停止になった。
- テーマパークのアトラクションから飛び降りたり、園内の機材を破損させたりする様子の写真をTwitterやFacebookに投稿し、損害賠償を請求された。
- LINEでの会話が段々口論にエスカレートし、ついには口論相手の殺害に至った。

これらを極端な例と考え、「自分とは関係ない」と思うことは簡単です。しかし、このような事件が後を絶たないというのは、SNSを使用する人々のどこかに、「自分とは関係ない」という気持ちがあり、人ごとのように思っているからに他なりません。

上記のような事件を起こした人は、必ずこのように言うそうです。

まさか、こんな大ごとになるとは思わなかった

この言葉が、まさにSNSでの事件の本質を物語っています。SNSは基本的に友人や仲間との会話ツールですが、同時にインターネットの世界に直結しています。つまり、仲

間内だけで会話しているつもりが、その内容はすべて全世界に発信されているのです。この事を忘れると、自分たちだけで楽しんでいたつもりが悪ふざけが、あっという間に世界中に広まって行き、気が付いた時には自分の力ではどうすることもできない位に大ごとになってしまっているのです。

一度大ごとになってしまったつぶやきや投稿は、その内容を消去してもコピーが世界中を流れます。その速度は驚くほど速く、例えば Twitter のリツイート（他のユーザーの発言を転載すること。また、転載した発言。）などは、一晩で数千から数万件に至ることもあり、こうなると完全に自分の手には負えなくなります。そして、自分の手を離れたツイートや投稿から、今度はかつて別のサイトに投稿した自分の住所、所属する学校やサークル、はては家族の名前といった個人情報が二次的に探られるケースが少なくありません。このような現象を「炎上」などと呼んだりしますが、この「炎上」で被害にあうのは、自分だけではありません。前述の通り、家族や所属学校にひっきりなしに電話が掛かってくるケースも多く、結果的に引っ越しを余儀なくされるケースも発生しています。

では、この「炎上」は、どのように防ぐべきでしょうか。繰り返しになりますが、一度「炎上」してしまうと、残念ながら対処する方法はありません。つまり、「炎上」する前に、自分のつぶやきや投稿を、きちんと吟味するしか防止する方法はないのです。幸い、皆さんは大学に入学するだけの学力と知識を持った、優秀な人たちです。前述のような軽率なつぶやきや投稿で人生を棒に振ることはないものと思いますが、それでもつぶやく前に一度立ち止まる習慣をつけてほしいと願っています。

SNS はとても便利なツールです。そして、この便利なツールを生かすも殺すも、自分の使い方次第です。SNS の影響力を軽視してはいけません。しかし、いたずらに SNS を恐れてもいけません。

tweet ボタンを押すその前に 投稿ボタンを押すその前に
果たしてこの内容が、世界に流れて問題はないのか

を、もう一度考えましょう。